

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成25年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	
事業開始年度	S46~		
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」
	中項目 基本計画	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち
	小項目 施策	28	賑わいをもたらす観光の振興
事務事業名	05	観光施設整備事業	
問	担当課(室)	まち営業課	
合	職・氏名	観光係長 金藤 康樹	
先	電話	64-1832(274)	
	このシート作成に要した時間	時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	観光客
目 的 (何のために)	観光資源を活かすために、有効な観光施設を整備し誘客を図る。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	観光施設の環境整備

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
夕立受山等整備事業	既存、新規の観光施設の整備等。今年度は該当なし。	○
観光看板等整備事業	お客様にやさしい案内ができるよう看板等を設置する。	○
海水浴場整備事業	観光客、地域住民にきれいな海水浴場で楽しんでいただくため、頭島外輪、大多府島宮ノ下、鴻島亀の浦海水浴場の砂浜を敷き均し整備する。	○
観光施設整備工事	今年度該当なし	○

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら留率性を評価

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決 算 額	事業費	千円	5,427	6,844	399
	必要人員	人	0.05人	0.02人	0.03人
	費用対効果		397	191	304
	事業費計	千円	5,824	7,035	703
	国庫支出金				
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
	その他( )				
	一般財源		5,824	7,035	703
	受益者負担比率	%	-	-	-

結果指標		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標名	説明				
結果指標量	新規観光施設整備箇所数	箇所	2	2	1
対前年比		%		100.0%	50.0%
活動コスト		円	5,824,000	8,835,000	703,000
単位当たりコスト			2,912,000	4,417,500	703,000

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
観光施設整備箇所数	成果指標名	目標値(A)	1以上	1以上	1以上	1以上
		実績値(B)	2	2	1	到達目標値
		達成率(B/A)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	適正な整備
成果指標設定の考え方・式や説明						
観光施設の適正な整備						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	C
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
			C

事業の目的や成果指標を評価する際の留意点

進行年度(H26年度)の改革改善内容		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況		○						
説明	備前市日生大橋開通に向け観光客を快くお出迎えできるよう、案内看板等の整備を行う必要がある。							

総合評価	
観光資源を有効に生かすため、施設整備を図り誘客に結びつけることが重要である。施設整備は計画性を持って年次的に進めて現状維持以上に保つ必要がある。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性		○						
取組目標	施設整備は、費用対効果を考えながら、計画的に事業を進めて行く必要がある。							